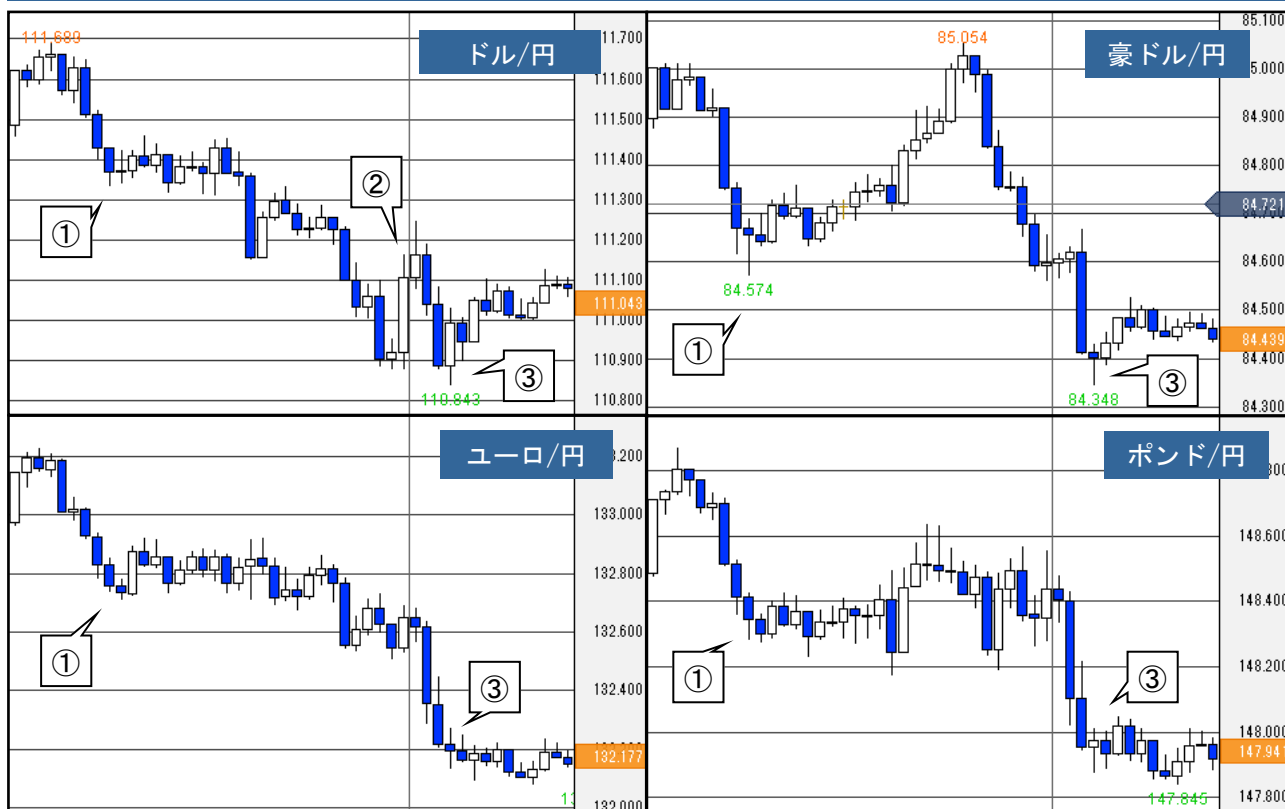


11月28日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米税制改革がカギに

27日(月)の為替相場

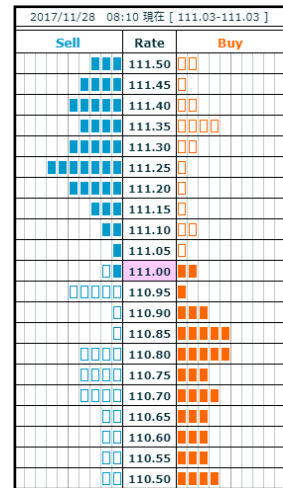


期間：27日(月)午前7時00分～28日(火)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 中国・上海総合株価指数を筆頭にアジア株が全般的に下落する中、ドル/円やクロス円にも下げ圧力がかかった。
- ② トランプ米大統領が「減税法案は順調に進捗している」とツイートするとドルを買い戻す動きが優勢となった。その後、米10月新築住宅販売件数が年率換算68.5万件と市場予想(62.7万件)を上回り、約10年ぶりの高水準を記録した事もドル買いを後押しした。
- ③ 「(日本)政府は北朝鮮の弾道ミサイルの発射準備とみられる信号を感知し警戒を強めている」と報じられると、リスク回避の円買いが強まり、ドル/円は9月15日以来の安値となる110.843円まで下落した。

27日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22495.99 ▼54.86	5988.773 △6.222	3322.230 ▼31.591	7383.90 ▼25.74	13000.2 ▼59.64
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
23580.78 △22.79	0.0430% △0.0140	2.524% △0.020	1.253% △0.003	0.342% ▼0.018
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.7404% ▼0.0038	2.3277% ▼0.0142	58.11 ▼0.84	1298.90 △7.10	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.500-111.700	131.500-133.000	84.000-85.000	147.300-149.100

【ドル/円】

昨日のドル円は110.80円台まで下値を切り下げて9月15日以来の安値を付ける場面があった。ただ、トランプ米大統領が税制改革法案について「順調に進捗している」とツイートすると111円台を回復するなど、同法案に対する市場の関心の高さが窺えた。同法案は昨日から米上院での審議が再開しているが、本日はトランプ大統領が上院共和党の定例昼食会に出席する。30日にも採決が行われる可能性があるとしており、審議の行方が目先のドルの値動きを左右する公算が大きい。その他、本日は米上院の承認公聴会に出席するパウエル次期米連邦準備制度理事会(FRB)議長候補の発言も注目されそうだ。なお、ドル/円のチャート上の下値ポイントは日足一目均衡表の雲下限110.709円。一方、上値ポイントは200日移動平均線の111.693円(執筆時)。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
11/28(火)	13:00		(日) 黒田日銀総裁、衆院予算委に出席	—	—
	16:30	○	(英) カーニーBOE総裁、講演	—	—
	22:00		(米) ムニューシン財務長官、ダドリーNY連銀総裁、講演	—	—
	22:30		(米) 10月卸売在庫(前月比)	+0.3%	+0.4%
	23:00		(米) 9月住宅価格指数(前月比)	+0.7%	+0.5%
	23:00		(米) 9月S&P/ケースシラー住宅価格指数(前年比)	+5.92%	+6.04%
	23:15		(米) ダドリーNY連銀総裁、講演	—	—
	23:45	◎	(米) パウエル次期FRB議長、承認公聴会(上院)	—	—
	24:00	○	(米) 11月消費者信頼感指数	125.9	124.0
	24:00		(米) 11月リッチモンド連銀製造業指数	12	14
	24:15		(米) ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁、講演	—	—
	27:00		(米) 7年債入札(280億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承知願います。